

## 平成 29 年度 生駒市子ども読書活動連絡調整会議

### 市内学校図書館視察記録（要約）

日 時： 平成 29 年 11 月 24 日（金）午後 2 時 30 分から  
場 所： 生駒市立北小学校、生駒市立北中学校  
目 的： 市内初の小中一貫校で、小学生と中学生と一緒に図書館を使うために、どのような工夫がなされているかを見学する。

【参加者】 岩崎れい、平井富久子、山崎周子、西木由紀

（欠席） 森岡伸枝、藤原康成、山中賢司、西中佳代美、松山裕美、  
辻中伸弘、吉川祐一

【北小中学校】 森能伸（校長）、喜多香世子（学校司書）

【事務局】 向田真理子、平澤佐千代、錦好見、清水淳子、廣松典子、吉田里子  
（以上図書館）

◎小中一貫校化の中で図書館の共有化から現在まで

○一貫校になるまで

- ・旧生駒北小学校の図書館は運動場に面していて、月曜日と木曜日に学校司書が勤務。16 時 10 分ごろまで開館しており、バスの時間を待つ場所として利用する児童もいた。
- ・旧生駒北中学校には学級文庫や読書タイムがなく、本と関わる機会が少なかった。

○移行中（旧北小学校舎に小中共有図書館を設置（平成 27 年度 2 学期～））

- ・共有図書館として開館するまでの準備段階では、一貫校図書館でも活用していく本とこの機会に除籍する本の選定を行った。特に中学校図書館は昭和 32 年から設置されており、古い本が多かった。除籍にあたっては、生駒市図書館の司書に相談し、作業を進めていった。
- ・共有図書館では書架の下 3 段に小学校蔵書、上 3 段に中学校蔵書を配架し、貸出については、それぞれの本に限られるものの、学年を飛び越えて資料を手にとれるよう工夫した。
- ・平成 27 年度の 2・3 学期は、小、中学校それぞれに 2 日ずつ配置されていた 2 名の学校司書が、都合 4 日分業務にあたるようになったため、生徒とのコミュニケーションを取れる時間が増えたことで、少しずつ中学生の利用も増加し始めた。
- ・平成 28 年度 1 学期からは小学生、中学生共に、全ての蔵書を貸出できるよう

になった。また、中学校でも学級文庫ができた。学校司書の配置は1名、週3日勤務になった。

- ・平成29年3月から新校舎への引越し準備開始。

○一貫校になってから

- ・平成29年4月17日に新校舎で図書館がオープン。
- ・家族で読書の習慣を身につけてもらおうと、夏休み前に保護者対象に貸出を実施。20件97冊の貸出があった。

- ・生駒市図書館の司書や生駒おはなしの会による出前おはなし会やブックトーク、模擬ビブリオバトル（中学1,2年生対象）を実施。

- ・生駒市図書館発行のブックリスト掲載図書を借り入れて、図書館に設置。

- ・手作りの読書貯金通帳、学校行事や季節に合わせた掲示物や本の特集を実施。

ハロウィンには、『カボチャのなかにたねいくつ？』（マーガレット・マクナマラ／作 フレーベル館）を題材にして、実際にかぼちゃの中から種を取り出し、洗って乾燥させたものを展示し、いくつあるかを生徒に当ててもらった子には、優勝特典として貸出冊数を1冊増やした。それから、その子は毎日図書館へ来るようになった。

～質疑応答より～

#### 【選書基準・蔵書構成】

- ・特に基準は定めていない。全体の構成を考えて図書を購入するところまでいっておらず、国語の教科書で紹介された本、買い替えやリクエストへの対応で手一杯という状況。

#### 【授業での図書館活用】

- ・図書館に隣接してパソコンルームがある。そこから直接図書館内に入れるようにレイアウトされているので、パソコンルームでの調べ物の延長で図書館資料を利用することがある。また、旧校舎時代に引き続き、通常の授業での利用の他に、保健室登校の子どもや特別支援学級での授業にも利用されている。

#### 【図書館での交流】

- ・旧校舎に設置していた共有図書館では、小学生と中学生が重なって利用する機会があったため交流があったが、現在は利用時間が重ならず、交流は減っている。それでも、同じスペースに小学生と中学生がいるということには慣れてきたように思う。図書委員の中学生が、小学生に向け、おすすめの本の展示を行っている。

◎森校長より

- ・中学校の先生が小学生に授業する時間を設置（数学、英語、書写、図工、体育）。小学生が中学生になったとき、知っている先生がいるという安心感がある。また、小学校の先生が、中学生にとという時間もある（音楽）。
- ・学力向上の鍵は、まず本に近づける環境を作ること。テレビやスマホなど強い光を放つものの楽しさを知る前に、本の楽しさを知ってもらわなければならない。
- ・和室があるが、ここでは茶道の授業を行っている。時間を確保することが難しいが、子どもたちに本物を経験させ、この地域のことでなく、日本のことを知る機会にしたい。将来さらに国際化が進んでいく中で、日本のことを話せる人になってほしい。

◎施設見学（森校長案内）

◎岩崎座長より

- ・普段の学校生活の中では、小学生と中学生の交流があると森校長からお聞きしていたが、小学校から中学校にかけては、体も心も大きく変化する時期。図書館でも、小学校から中学校への移行が難しいが、一貫校ではそこがスムーズに行くのではないか。これからの期待したい。